

世界自然遺産 5 地域会議と大阪・関西万博への参加

◇ 5 地域会議が目ざすものと万博参加の位置づけ

- ・世界自然遺産 5 地域会議では、全世界に対して日本の世界自然遺産への理解を深め、日本型の自然保護の考え方や仕組みを発信していくことを目指しています。
- ・5 地域で進めている自然と共生した地域活性化の取組みについて、日本国内だけでなく、全世界、とりわけ途上国の理解促進を図りたいと考えています。
- ・このため、5 地域会議としては、直近、かつ格好の機会として大阪・関西万博に参画することを位置づけています。

万博では、世界自然遺産に登録された日本の 5 つの地域の大型自然映像の上映やそれにちなむ著名人トーク、芸能パフォーマンス、郷土芸能などを披露するとともに、世界の有識者が日本の自然について語る国際シンポジウムを開催します。

これらを通じ、日本の世界遺産の限りなく多様な魅力と「共生」や「環境文化」という日本型自然保護のメッセージを発信します。

- ・この催事を 5 地域関係者が共に作り、催行することは、これまでなかった共同作業です。
- ・企画の詰め、出演・出展準備の調整、共同での費用負担の検討などを通じ、相互の地域課題への認識を深め、連帯や結束を強化する意味もあると考えられます。

■TEAM EXPO2025「共創チャレンジ」と 5 地域会議

2025 年日本国際博覧会（略称：大阪・関西万博）では、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに掲げ、これを実現するために、様々な個人・団体の参加を募っている。

「TEAM EXPO 2025」は、そのためのプログラムの一つで、多様な人たちがチームを組み、多彩な活動で大阪・関西万博とその先の未来に挑むものであり、テーマの実践を通じて SDGs の達成に貢献していくことを目指している。

イベント学会（中村利雄会長）と一般財団法人地球産業文化研究所（GISPRI）は、2005 年日本国際博覧会（愛・地球博）が実現した「市民参加」の理念を継承し、大阪・関西万博の成功と万博による社会の持続可能な発展に貢献することを目指す団体の一つである。両者はこのような趣旨から、「歴史文化」「水と流域」「自然遺産」をテーマとする 3 つの取り組み（「共創チャレンジ」）によって、それぞれの企画・実施機関と協働して「TEAM EXPO 2025」に参加し、「共創パートナー」として、資金、技術・ノウハウ、情報発信等の面でサポートを行うこととしている。

「世界自然遺産 5 地域会議」は、これに呼応するかたちで、世界遺産地域 22 市町村及び 2 公益財団法人が 2023 年 1 月屋久島に集まり、発足させたものである。

■万博参加により期待される効果

5 地域の魅力、また、地域だけでは解決できない大きな課題に対して、広く社会の意識が向けられ、高まる。万博は国内外の人々が関心を持って集まる、共創の場と機会。

参加の枠組み

■TEAM EXPO2025「共創チャレンジ」としての参加

イベント学会と地球産業文化研究所（GISPRI）は TEAM EXPO 2025「共創チーム」を組織し、世界自然遺産 5 地域会議もこれに参加。日本国際博覧会協会との折衝などを行ってきた。

その結果、「**テーマウィーク**」事業（8 つのテーマが設定されており、そのうち「未来への文化共創」というテーマに割り当て）の 1 つに位置づけられ、「**テーマウィークスタジオ**」（約 170㎡、100 名収容程度の広さ）と呼ばれる会場が使用できることとなった。

■「一般参加催事」への応募、参加

上記以外に日本国際博覧会協会が、未来創造への挑戦となるイベントの企画を一般から募集したのに対し、5 地域会議が応募し、採用された。

こちらは EXPO ホールという大催事場を使用する企画提案であり、6 月 5 日（木）の会場使用が決まった。

① テーマウィーク

- ・日時：5/6（火）9:00-21:00
- ・場所：テーマウィークスタジオ
- ・観客席：約 100 席

② 一般参加催事

- ・日時：6/5（木）9:00-21:00
- ・場所：EXPO ホール（大催事場）
- ・観客席：約 1,800 席



2025 年 5 月 6 日（火）9:00～21:00、
3 グループで当スタジオを使用（約 170㎡・約 100 席）



2025 年 6 月 5 日（木）9:00～21:00
EXPO ホール（シャインハット）を使用（約 1,800 席）

大阪・関西万博の概要

- 開催期間：2025年4月13日（日）～10月13日（月）
- 会場：大阪夢洲
- 想定来場者数：約2,820万人
- 国内来場者は約 2,470 万人（88%）、海外来場者が約350万人（12%）と想定される。

＜参考＞ドバイ万博の実績（JETROLレポートより引用）

項目	実績
来場者数	2,410万2,967人
オンライン来訪者数	2億4,800万人
参加国・機関	192カ国、14多国籍機関
訪問した政府要人	約1万6,000人
ボランティア	135カ国から3万人が参加
イベント数	3万5,276件

2025年日本国際博覧会
Expo 2025 Osaka, Kansai, Japan
イベントカレンダー
2024年6月13日現在

THAT ONE STEP WILL SHIFT THE FUTURE.
その一歩が、未来を動かす。
ドキドキ・ワクワクする楽しさや、学び、気づきを感じる
多種多様なイベントが毎日行われます。

会場内すべてのイベントが無料!!

期間：2025年4月13日(日)～10月13日(月)
開場時間：午前9時～午後10時
会場：大阪 夢洲

公営社団法人2025年日本国際博覧会協会

3



4



日本の世界自然遺産5地域に暮らす

こども作文コンクール

テーマ

世界自然遺産と
私たち

募集しめきり
2025年

2月12日(水)

当日消印有効

みつけた! 自然のふしぎ・自然と暮らすたのしみ



「大阪・関西万博」会場で世界に発信

各地域の最優秀賞受賞者は
大阪・関西万博にご招待!

作者と保護者1名
(往復交通費・2泊宿泊費・万博入場券 / 開催期間中有効)
(おがさわら丸乗船券含む) (R7.10.13まで)



応募条件

世界自然遺産5地域内(本市町村)
に在住の小学生・中学生
「小学生の部」「中学生の部」でそれぞれ募集

文字数

1000～1200字
400字詰め原稿用紙で3枚

賞

各地域の最優秀賞1作品

主催: 世界自然遺産5地域会議

世界自然遺産と
私たち

募集しめきり

2025 年

2月12日(水)

当日消印有効

みつけた！ 自然のふしぎ・自然と暮らすたのしみ

地元の自然の景色、自然の中での遊び、自然の中で感動したこと、ふしぎだなと思ったこと、暮らしの中で自然があるからこそ感じられる音や匂いの体験、などを作文にしてください。

応募資格	本市町村内に住む小学生と中学生 (公立・私立、小中一貫校、特別支援学校等含む)
部門	「小学生の部」「中学生の部」の2部門
応募の決まり	文字数：1000～1200字(400字詰め原稿用紙を使用) 応募数：1人1作品(未発表作品) 応募料：無料 作品1枚目1行目に「タイトル」、2行目に「学校名」と「学年」、3行目に「名前」、4行目から「本文」を書いてください。 3枚目裏面には「住所、連絡先(電話番号) 保護者名」を記入してください。 名前には必ずフリガナを付けてください。鉛筆(Bまたは2B)で濃く書いてください。 応募先窓口へ持参、もしくは郵送(当日消印有効) ※FAX、メール添付等では受付いたしません。 ※学校や団体などで応募される場合は、まとめて持参・郵送可
募集しめきり	2025年2月12日(水) 当日消印有効
選考と表彰	各地域の最優秀賞「小学生の部」1作品、「中学生の部」1作品(計10作品) 2025年6月5日(木) 大阪・関西万博 EXPO ホール授賞式にて発表 ※1次選考は、各市町村で行います。そこで選ばれた作品のなかから最優秀作品を選びます。 審査委員長：山極 寿一(人類学者・霊長類学者、総合地球環境学研究所所長、元京都大学総長)
賞	世界自然遺産 5 地域会議より「大阪・関西万博ご招待」 作者と保護者1名の万博入場券、往復交通費、2泊宿泊代(万博開催期間中有効) ※受賞者には4月頃、事前にご連絡いたします。

受付できない作品は次の通りです

- ・既定の用紙(400字詰め原稿用紙)以外の用紙の使用した作品、絵・写真などを使用した作品、応募する児童・生徒の自筆でない作品、二重応募の作品

- ・障害などの理由で、自筆に不安がある人は小笠原村環境課にご連絡ください。
- ・応募作品は返却いたしません。必要であればコピーしておいてください。
- ・盗作等による著作権侵害の争いが生じた場合、主催者は責任を負いません。
- ・入選作品の著作権は主催者に帰属します。
- ・記載いただいた個人情報は 受賞者への連絡、作品に関する問い合わせ、発表等のみに使用します。
- ・入選作品は大阪・関西万博及び主催者、共催者※のホームページや出版物等で紹介、使用されることがあります。
※5地域会議構成員である23の市町村と2つの公益財団法人が共催者となっています。

お問合せ・応募先：小笠原村環境課(こども作文コンクール事務局)

〒100-2101 東京都小笠原村父島字西町 04998-2-2270